

5月7日(土) 成田

前泊 成田リッチモンドホテル宿泊

5月8日(日) 移動 カスカエス

NH201 成田発 11:25 ロンドン着 15:40 ロンドン発 19:30 リスボン着 22:30

リスボン空港に着陸時、市内を巡回する経路で街の明かりが赤橙色に輝き、非常にきれいな夜景であった。

テージョ川沿いにあるベレンの塔、ジェロニモス修道院を左側に見ながら進入、着陸する。

ほぼ予定通りピンラデン殺害、福島原発の影響もなくリスボンに到着する。

空港からタクシーでカスカエスのマリナーに。1ヶ月ぶりにCAVOK Vに面会。

日曜日で、かつ遅い時間なのでマリナーの店も閉っており、シャワーを浴びてから艇内で悦子と一杯やり、長旅の疲れを癒し、今年のスタートを祝って就寝する。

5月9日(月) 快晴 カスカエス

朝起きたら雲一つない快晴、朝食をマリナーのカフェで食べてから越冬中オーダーしてあった部位の点検をWavetech社のスタッフとする。

非常に親切で誠実な人達で、すべての修理、取付けをきちんとやってくれた。

ジブのセット、ラバーボートを膨らませる。又アンカーチェーンを30m伸ばして60mにする。

これから地中海に入るとスターンつけが多くなるので、スターンからの梯子を注文する。

日中は外では陽射しが強く夏を感じるが、日陰では爽やかな春になる。

夜は、私が冬に整備に来たときの行きつけの店へ行き、悦子は前回私が食べたとき、とても柔らかく美味しかった石焼ヒレステーキを奨める。私は、店長お奨めのヒラメのグリルと雑炊風トマトライス、スープはポルトガル名物ジャガイモ、キャベツ等、野菜を煮込んだ野菜スープを頂く。

悦子も、石焼ヒレステーキには大満足、また雑炊風トマトライスは日本でも流行りそう。

その他、サラダ、ビール、赤ワイン、エスプレッソを呑んで48ユーロ。

最後に、店長がポルトワインをサービスしてくれました。本当に安くご馳走さまでした。

5月10日(火) 快晴 カスカエス

今日も澄み渡る青い空で朝を迎えました。

午前中、ラバーボートに新しく購入したホンダ4サイクル船外機をつけて試走。さすが世界に誇るホンダ、一発でエンジンスタート(梱包解いて燃料入れて一発の始動でした)彼等もホンダ含めて日本製品の品質の良さを絶賛していました。

また、ラバーボートをスピンハリヤードを使ってデッキに載せる練習もする。

午後は、シントラ見学にバスで行く。カスカエスから約40分、ここも世界遺産で7~8世紀にムーア人が築城したところで、標高450mの山頂に築かれた城壁を回りながら、リスボン市内、大西洋、シントラ市内と景観が広がる。ほぼ昔のままの城跡で、ヨーロッパの歴史を感じさせた。

ペナ宮は、標高 529m の山頂に立つ宮殿で完成は 1580 年ということなので、大航海時代のポルトガルの繁栄が覗けた。建物は、バロック、マヌエル様式など多彩な建築様式が混在した幻想的な印象でした。シントラ全体が緑も多く、別荘地になっているようで、1泊はしてゆっくり楽しみたいところだった。

夜はこの Wavetech 社のフランシスカさん、ジョローさんが美味しい魚料理をご馳走してくれた。地元の人しか行けないような小さなレストランで地元の味と雰囲気味わえた。料理はカルマリのグリル。

5月11日(水) 快晴 カスカエス

朝、起きてから、いつものようにトースト、コーヒー、オレンジジュースとヨーグルト、そして生ハムを頂く。午前中、整備の最終点検を行い、午後はリスボンの町に行く。ジェロニモス修道院を見学し、飛鳥で就航中の皆さんが団体で来ていた。本日7時に出港してフランスに向うそうだ。



そのあとサンジョルジュ城に登り、リスボン市内とテージョ川を一望。ここは古代ローマの砦をもとにした城で、西ゴート族、ムーア人、キリスト教徒、ポルトガル王家と時代の足取りが残る。ローマ時代の庭園も残っていた。

昨夜、リスボンに到着した柴崎、藤巻さんとホテルで夕方7時半にホテルで待合せして、1755年のリスボンの地震で壊れなかったために、昔のまま残っているアルマファ地区を歩き、庶民的なファドレストラン街を覗いて予約しておいたファドレストランへ。

このレストラン(Casa de Linhares)は、ポルトガルの国民的詩人カモンイスが住んでいた歴史的な建物を利用した高い石天井が醸し出す幻想的な空間の中、ファドの哀愁ある歌声を聞くことができた。大航海時代を思い起こす雰囲気の中で、柴崎さん、藤巻さんと共に航海の安全を誓う。

5月12日(木) 快晴 カスカエス

今日から柴崎、藤巻さんが CAVOK V へ来る。9時半、マリーナで再会する。ホテルからの道中、藤巻さんが電車にパソコンを忘れ、取りにいったがなかった。

彼等は、CAVOK V 到着後、一段落してからロカ岬に観光に、我々も一緒にバス乗場まで行き、そこで別れ、スーパージャンボで掃除機、扇風機その他、細々した必要備品を仕入れる。

彼等が観光の後、全員で食料の買出しに行く。ビール、ワイン、ウイスキー含めて食料をいろいろ買ったが、しめて120euroで、物価が安い。

一昨日オーダーした梯子がきたが、折畳式でないのがきたので折畳みできるよう、細工してもらったことにした。

夜は、親しくなったレストランへ。魚介類のブイヤベース、前回同様の石焼ステーキ、トマトライス全てが大変美味で、柴崎さん、藤巻さんも大満足であった。

店長が船の上で呑むようにと自家製グラッパを1本プレゼントしてくれた。

船に戻り一杯やり明日からの安全運航を祈り、就寝した。

5月13日(金) 快晴北西3~7m Cascais~ Sesimble 1200/1645 25nm

昨日間に合わなかった梯子の取付けをしてから、お世話になった Wavetech 社に挨拶をしてカスカエスマリーナの清算を終り12時に約半年ぶりに出港する。

整備、管理をお願いした Wavetech のジョローさん、フランシスコさんそして事務担当の可愛い親切な女性のカルーラさんにお礼をする。彼等は、私のオーダーを全て完璧にやってくれ、船の管理も丁寧にしてくれた。カスカエスマリーナの清算もして快晴の中、三田ヨット倶楽部柴崎、藤巻さんと悦子と4人で快晴の中、出港する。風は、北西風でフリーであったが弱い風だったので機走と帆走と交互で走った。日本から運んだ大型魚用の曳き釣を早速試してみたところ、早速、小ぶりのカツオをゲットする。

風も良い風になり、帆走を楽しみながら岬をかわし、セシンプルに入港する。ここのスタッフが舫いを取ってくれた。



此処のマリーナのサウナで知合ったマリア夫妻を船に招待して夕食を楽しむ。

メイン・ディッシュはカツオの刺身で、アサリのワイン蒸し、生ハム、トマトサラダ、それとマリアさんが持ってきてくれたダックのローストで盛上る。

5月14日(土) Sesimble 泊り

久しぶりの航海と陽射しと風を浴びたので、皆さん時差を忘れてぐっすり寝たので爽やかな朝を迎えることができた。

昼から町の中心部に出かける。例のごとくインフォメーションを訪ね、マーケットと丘の上のお城の行き方を聞いて上る。

ここも歴史ある城で、ムーア人が最初築城したそうだ。その後、スペインとリスボン市内、大西洋を見渡せ、素晴らしい景観であった。海水浴場の前は魚介類をそのままショーケースに入れて見えるようにしたレストランが並んであり、その中の一軒に入り、昼食を摂る。太陽の光が強く、喉が渴いたので先ずはビール、シュリンプのカクテルと車エビのポイル、イワシのグリルとロブスターのリゾットを4人でシェアする。

青い空、砂浜、橙色の屋根の白い家を眺めながら、食事を楽しむ。帰り、市場で美味しそうに見えたので、スイカを買ったが甘みが少なかった。海岸線を歩きマリーナに戻り、泳いで熱くなった体を冷やす。

隣の釣船の地元のおにいちゃんに怪しげなお酒を頂く。

夜は、ステーキ、安い肉をスーパーで買ったせいか、少々硬く筋っぽかった。先日の石焼ステーキには数段格落ちであった。

11時には、皆さんお疲れでぐっすり。

5月15日(日) 快晴 北東 10~13m Sesimble~Sines 1130/1725 36nm

今日は、シネスに行く予定だったが、快晴なれど好天をもたらしてくれている北大西洋高気圧からの吹出しの風が強くなり、風待ちをする。こちらではWindguruというウェブで海上気象を見ているが、各地の風、波の予報が出ていて非常に良い参考になる。興味のある方は開いてみてください。日本も出ています。www/windguru/cz/int です。

午後、風が収まる予報なので出港する。風はアビームで、フルセールで7~8KTで快調に3時間ほど走るが、その後、風が北にvari追手になり、弱くなったので機帆走にする。入港間近にカツオ2本ゲットする。

シネスのマリーナ事務所で手続をしていると、イミグレーションの係がたまたまきて、私のパスポートの提示を求め、90日間のシェンゲン協定がある旨、念を押され、パスポートをコピーしてた。

このマリーナは、片方が海岸線に開け、小高い丘の上の家々がきれいに見える田舎の雰囲気のある感じの良いマリーナである。夕方6時過ぎになっても陽は高く浜では海水浴を楽しんでいる。

夕飯は、釣りたてのカツオの刺身と味噌汁とご飯の純日本風であった。久しぶりに美味しい刺身を満喫した。

月は満月に近く、月から離れた空の色がアズールカラーであった。

5月16日(月) 快晴後曇り Sines 泊り雨

朝起きてコクピットから見るシネスの海岸線、町並は静けさの中に美しさを感じる。ゆっくり朝食を食べた後 街に歩いて4人で観光と買い物に行く。ここはヴァスコ・ダ・ガマの生誕地で記念像の前で記念写真を撮る。



スーパーマーケットとインターネットカフェを探し帰りに買い物をして店の前でチキンを焼いていたのが美味しそうだったのでお昼に買って帰る。

午後はゆっくりと街を散歩したり船で仕事したりする。真水のあかが溜まっているので点検してみた所清水タンクのドレインパイプからポタポタ水が落ちているを見つけたが原因不明。メカニックのいるところで見てもらうことにする。

柴崎さんがカワハギに似た魚を釣る。弱い温暖前線が出来て夕方一雨ある。夜は柴崎さんの釣ったカワハギもどきを煮付けにしてカツオを照り焼きに、ズキーニとタマネギのソテー、ガーリックライスで食べる。ウイスキー1本を白ワインとともに空ける。連日呑み過ぎの気がある。前線があるので明日の出港は見合わせることにする。



添付ファイル

2011年航海日誌 1.xlsx Type:application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet Size:27,983bytes

IMG_0847.JPG Type:image/jpeg Size:1,264,525bytes

DSCN2396.JPG Type:image/jpeg Size:1,667,106bytes

DSCN2420.JPG Type:image/jpeg Size:1,784,411bytes

DSCN2407.JPG Type:image/jpeg Size:1,655,171bytes

(続く)